



世界物理年記念シンポジウム

開催のご案内

万人のため

の科学



Albert Einstein

Memoria

一平生

アインシュタインの業績(1905年)を記念して設定された「世界物理年」については、わが国においては、物理学のみならず天文、生物物理、電気・電子、機械などの学会をはじめ、関係するさまざまな研究機関、民間企業、事業者団体などのご協力・ご尽力により、数多くの事業を実施してまいりました。科学技術に対する関心の低下が懸念されている中で、これらの活動により、科学者、技術者の側から社会に対して積極的に働きかけることの意義が理解されてきたものと評価しております。

さて、わが国が「科学技術創造立国」をめざしていくためには、この「世界物理年」を一年の活動をもって終結させるのではなく、次の活動に継続していくことが必要であると思えます。

そこで、世界物理年日本委員会では、「世界物理年記念シンポジウム」の開催を計画いたしました。日本委員会が、昨年、活動の開始に際して発表した「企画書」では、科学と技術について社会一般の人びとが持っている理解度を高めていく活動、次代の科学と技術を担う若い人た

ちに対する活動、そして科学者と技術者のモラルを再確認する活動を掲げています。今回のシンポジウムでは、この三つのテーマに即して、さまざまな分野の方々にご参加をいただきご意見をいただくことで、今後の活動に向けての出発点にしてまいりたいと考えております。

社会の中の科学と技術

会場：一橋記念講堂 (東京都千代田区一ツ橋2-1-2 (学術総合センター))

2006年4月8日(土)

■ 10:00~17:00 ■

- 参加者：一般の方々、学会関係、研究者など500名(入場無料)
- 主催：世界物理年日本委員会
- 共催：宇宙航空研究開発機構、科学技術振興機構、日本原子力研究開発機構、理化学研究所、国立科学博物館、日本物理学会、応用物理学会、日本物理教育学会、日本生物物理学会、日本科学技術振興財団
- 後援：文部科学省、経済産業省、日本経済団体連合会、NHK、日本天文学会、電気学会、日本機械学会、電子情報通信学会、日本工学会(申請中のものを含まず)

次の世代を育てる理科教育

# プログラム

# 万人のための科学

## ご挨拶

北原和夫 (世界物理年日本委員会運営委員長)  
松田岩夫 (科学技術政策担当大臣)  
(10:00~10:10)

## 基調講演

霜田光一 (東京大学名誉教授)  
(10:10~10:30)

## 特別講演

松井孝典 (東京大学大学院新領域創成科学研究科教授)  
茅陽一 (地球環境産業技術研究所長)  
平林久 (宇宙航空研究開発機構宇宙情報・エネルギー工学研究系教授)  
米沢富美子 (慶應義塾大学名誉教授)  
(10:30~12:30)

## 休憩・昼食

60分

## 申し込み方法

### Webからのお申し込み

<http://www.wypj.net> にアクセスして頂き、参加登録フォームに従って必要事項をご記入の上送信下さい。

### FAXでのお申し込み

下記のフォームに必要事項をご記入の上

**FAX:03-5468-0037** までお送り下さい。

「世界物理年記念シンポジウム」事務局 しゅくみねっと株式会社 行き

「世界物理年記念シンポジウム」(4月8日)に参加したいので事前登録をします。

ご氏名

ご連絡先 電話番号

E-mailアドレス

## パネル討論

### 前半:「社会の中の科学と技術」

榊裕之 (東京大学生産技術研究所教授)  
鈴木晶子 (京都大学教育学部教授)  
高柳雄一 (多摩六都科学館長)  
田島俊樹 (日本原子力研究開発機構関西科学研究所長)  
立花隆 (ジャーナリスト)  
柘植綾夫 (総合科学技術会議議員)  
本田和子 (前お茶の水女子大学長)  
黒川清 (日本学術会議会長):司会  
(13:30~15:00)

### 後半:「次の世代を育てる理科教育」

北原和夫 (国際基督教大学教養学部教授)  
小舘香椎子 (日本女子大学理学部教授)  
銭谷真美 (文部科学省初等中等教育局長)  
谷重男 (経済産業省大臣官房審議官(産業技術担当))  
中村日出夫 (品川区立荏原第一中学校長)  
丹羽健夫 (河合文化教育研究所主任研究員)  
ピーター・フランクル (数学者、大道藝人)  
種市健 (科学技術と経済の会副会長)  
有馬朗人 (日本科学技術振興財団会長):司会  
(15:20~16:50)

## まとめ

有馬朗人 (世界物理年日本委員会会長)  
(16:50~17:00)

※個人情報の取り扱いについて: 申し込みに際しての個人情報は記念シンポジウム以外の用途には一切使用致しません。  
また、頂きましたデータは本シンポジウム終了後全て破棄させていただきます。